

新たな観光振興基本計画の基本的な考え方 ～中間とりまとめ(案)～ 構成イメージ

長野県観光振興審議会

○ 計画策定の趣旨 ①長野県観光を持続的に振興していくための方策を明らかにするとともに、②県、市町村、観光事業者、県民などが、適切な役割分担のもと、協働して取り組むための指針として策定	○ 計画の位置づけ 「新たな総合 5 か年計画」における観光関連施策の個別計画としての位置づけ	○ 計画の期間 平成 25～29 年度 (5 か年間)
---	--	------------------------------------

第 1 編 現状と課題 第 1 章 観光を取り巻く環境 (1)人口減少に伴う地域の衰退 ・日本の総人口の長期的な減少が予想される中、地域活力の衰退が懸念 → 交流人口の増加により地域を活性化できる観光への期待の高まり (2)旅行形態の変化 ・国内観光旅行は、景気の低迷などにより、回数、年間宿泊数ともに減少傾向。国内宿泊旅行実施率も減少傾向にあり、旅行ゼロ階層の割合は 52.2%。また、20 代、30 代の旅行回数の落込みが顕著 → 価値観やライフスタイルの多様化などを背景とする、体験や交流などを目的とする旅行へのニーズに対応した取組、I T を活用した情報提供の重要性の高まり (3)外国人旅行者の増加 ・成長を続ける中国をはじめとするアジア諸国からの外国人旅行者数は増加傾向 → 国際競争力のある地域づくり、受入体制整備の重要性などの高まり (4)高速交通網の整備 ・北陸新幹線、高規格幹線道路をはじめとする高速交通網整備による観光振興の可能性の広がり → 平成 26 年度末の北陸新幹線金沢延伸を見据えた観光振興策の重要性の高まり (5)東日本大震災を契機とした変化 ・震災を契機に、絆意識、豊かさに対する考え方など価値観が変化 ・原子力発電所事故を契機として電力不足の長期化が懸念 → 心の豊かさを実感できるライフスタイルの提供などの重要性の高まり		第 2 章 長野県観光の現状 (1)近年の観光の動向 ・経済の停滞、日帰り圏化、スキー客の減少などを要因として、長野県の観光旅行者数、観光消費額は長期的に減少傾向 ・震災の影響で減少した観光旅行者数は、おおむね回復 ・外国人旅行者数は、震災の影響などにより大幅に減少。市場全体では回復傾向にあるものの、その状況は国や地域により二極化 (2)長野県観光の魅力と評価 ・延宿泊者数が全国第 5 位となるなど、長野県は全国的にみて有数の観光県 ・47 都道府県の魅力度ランキングにおいて長野県は第 8 位 ・長野県の魅力として豊富な自然や温泉地の多さが高く評価。一方で、食や特産品など満足度の低さから、観光旅行者の総合的満足度は全国平均をわずかに上回る水準 ・観光旅行者の居住地は関東ブロックをはじめとする三大都市圏が 8 割を超え、年代別では 50 歳代が過半数を占める。また、リピーター率が高水準 (3)観光産業の現状 ・宿泊業、飲食業、運輸・交通業、小売業など幅広い分野を包含したすそ野の広い総合産業である観光産業は、長野県の主要産業の一つ ・旅行消費は、観光に直接関係する産業のみならず、食料品産業、小売業、農林水産業など、他産業にもその効果が波及 ・宿泊施設数は全国 1 位となっているものの、宿泊施設の客室稼働率は全国で最も低い水準であり、平成 23 年の旅館・ホテルの倒産件数は全国最多	
第 3 章 長野県観光の課題 (1)新たな観光振興の必要性 ・国内観光需要が減少する中で、観光振興は、①観光旅行者に滞在してもらう、②何でも訪れてもらう、③外国からも訪れてもらう視点が必要 ・「地域の日常空間」をありのまま楽しむ観光旅行者のニーズの変化に応える地域づくりと一体になった観光地域づくりの推進が不可欠 ・観光地域づくりのため、県民や幅広い事業者の観光に対する意識の改革が必要 (2)地域経済への寄与 ・観光旅行者を「施設顧客」から「地域顧客」に転換することにより、リピーターや新規顧客を獲得し、地域経済に寄与していく視点が必要 ・スキー場や温泉旅館など観光事業者の振興を図ることも重要 (3)顧客満足度と利便性・快適性の向上 ・県民一人ひとりが郷土の価値を再認識し、自らが信州での暮らしを楽しみながら、心をこめたおもてなしで観光旅行者の満足度を向上させることが重要		・旅行先での情報提供など、観光旅行者の利便性、快適性を高める取組が必要 (4)新たな観光スタイルへの対応 ・信州の自然や風土、健康長寿などの強みを活かし、他分野と連携しながら、新たな観光資源、体験・交流プログラムの開発など、新たな観光ニーズに対応する視点が必要 (5)海外からの誘客の促進 ・増加傾向にあるアジア諸国やオーストラリアなどからの外国人旅行者の誘致促進や新たな市場の獲得に向け、思い切った施策展開、受入環境の整備が重要 (6)信州のブランド力の相対的低下 ・地域間競争が激化する中で信州のブランド力が相対的に低下してきていると指摘されており、長野県の観光資源の価値を創出し統一的に発信する仕組みの構築が必要 (7)人材育成と仕組みの構築 ・観光地域づくりのため、中核となる人材の育成、地域全体の情報発信、商品の企画・販売をワンストップで行う仕組みの構築などが不可欠	
第 4 章 長野県観光の強み (1)豊かな自然の恵みがもたらす観光資源 ・豊かな自然に恵まれ、山岳、高原、溪谷などの景勝地が豊富 ・北アルプスに代表される雄大な山岳景観を活かした国際的知名度の高い観光地が存在 ・豊富な湯量の温泉、良質な雪質のスキー場が多く、国内外から訪れる多くの者を魅了 ・気候が変化に富み、中でも冷涼な気候は著名な避暑地の発展に寄与 ・多様な気候を利用して、果樹、高原野菜など豊富な食材が生産 (2)信州暮らしが育んだ観光資源 ・美しい農村景観、古の街道の街なみ、日々の暮らしの中で育まれた風習や食文化など、その土地ならではの「信州暮らし」が各地で展開 ・風土や歴史の中で民俗芸能や伝統行事が各地で個性的文化として生まれ、世代を越えて現代に承継 ・人口 10 万人当たりの博物館・美術館の数は全国第 1 位であり、県民や多くの観光旅行者の知的欲求に対応 (3)地理的優位性 ・首都圏、中京圏から 200km 圏内に位置し、観光県としての地理的優位性を具備 ・高速交通ネットワークの整備は大都市圏などからの移動時間を短縮 ・平成 26 年度末に予定される北陸新幹線の金沢延伸により交流の可能性が拡大 (4)今後の観光振興を進める上でのポテンシャル ・広大な県土に豊富な観光資源、個性あふれる地域が多いことは、移動型の滞在観光を進める上で活かすべきポテンシャル ・「全国トップレベルの健康長寿」の要因といわれる、豊かな自然環境の中でのゆとりある暮らし、県民の高い健康意識は、今後の観光振興を進める上で活かすべきポテンシャル ・二地域居住・移住先としての高い人気は、交流人口の拡大を図る上でのポテンシャル			

第 2 編 長野県観光がめざす姿 （※新たな総合 5 か年計画の 20 年後のめざす姿と整合を図りつつ検討） 1 長野県観光がめざす姿 「豊かな「信州暮らし」を楽しみ、発信」 ・人口減少をはじめ観光を取り巻く環境が変化する中で、豊かな自然環境や優れた景観、伝統や文化など長野県の強みに裏打ちされた豊かな「信州暮らし」を県民一人ひとりが誇りをもって楽しむとともに、新たな価値を創出し、おもてなしの心で発信する。 「地域全体で魅力を高める「観光地域づくり」」 ・優れた資源を最大限に活用し、かつ広域連携により地域全体で観光地域づくりを進め、滞在時間を増加させることにより地域経済の活性化に寄与する。 ・観光産業、農林水産業、商工業など、幅広い事業者が連携し、新たな観光ニーズに対応することにより、交流人口を拡大する。 「「信州ブランド」を高め、国内外から選ばれる長野県へ」 ・豊かな「信州暮らし」を世界に発信するとともに、観光旅行者の期待に応え続けることにより、長野県観光のブランド力を高め、選ばれ続ける観光県になることで、さらなる観光振興に繋げる。 2 達成目標 ・計画の進捗を点検するため、達成目標の設定が必要	
--	--

第 3 編 重点的に取り組む施策 ・長野県観光のめざす姿の実現に向け、新たな観光ニーズに対応しながら重点的・横断的に取り組む方策を明らかにするプロジェクトを設定し、取り組む。 〔施策例〕◎観光地域づくり ◎他分野と連携したニューツーリズムの推進 ◎信州ブランドの磨き上げと発信による観光魅力の向上 ◎おもてなしの推進 ◎外国人旅行者の誘致促進 ◎北陸新幹線延伸による効果の活用 ◎…

第 4 編 施策展開 ・観光振興を図る施策をわかりやすく体系化し、着実に取り組む。				
1 観光地域づくり ・人材育成、組織の構築 ・連携・協働による観光地域づくり	2 観光の高付加価値化 ・ブランド戦略による観光資源の高付加価値化 ・ニューツーリズムの推進	3 おもてなしの推進 ・県民意識の醸成と事業者の資質向上 ・おもてなし県民運動	4 観光の基盤づくり ・自然環境、景観、高速交通網など観光の基盤づくり ・安全・安心の確保と利便性・快適性の向上	5 国内外からの誘客・交流の促進 ・国内外からの誘客の促進 ・M I C E 等による交流の促進

第 5 編 地域別の観光ビジョン ・広大な県土、異なる風土のもとで育まれた各地域の多彩な特性を踏まえた 10 地域別の観光ビジョン、広域観光の観点での県内外との地域間連携	第 6 編 計画の推進のために ・多様な主体が適切な役割分担のもと、互いに協働し、施策を展開 ・計画を実効性あるものとするため、計画の検証・評価を行う仕組みを検討
---	--